

連珠つておもしろい

九段 河村典彦

● 第129回 ●

■チーム世界戦(3)

今回も前回の続き、チーム世界戦の局をお届けしよう。最終的には中国が上位3位を独占し、本当に強国になつたと感じさせた。ただ、日本チーム1が4位に入り、神谷名人なら互角以上に戦っていたのでまだ卷き返せるチャンスはある。そのためには層を厚くする必要がある。

回戦から見てみよう。回戦から見

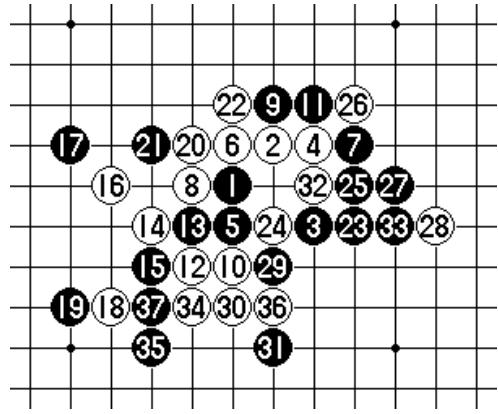
6回戦

黒 ロシア Peter Burtshev
白 日本2 宮本俊寿
白 日本2 宮本俊寿
黒 ロシア Peter Burtshev
以上に戦つていたのでまだ卷き返せるチャンスはある。そのためには層を厚くする必要がある。

今回は前回に引き続き6回戦

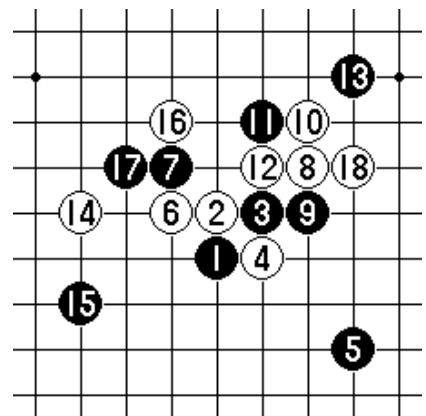
● 6回戦
白 黒 6回戦
日本1 日本1
マカオ 岡部 寛
白 黒 6回戦
日本1 日本1
マカオ 岡部 寛

水月からの展開はA級リー
グでも経験があるため、安
心したことだろう。ただ、安
白20、22は勝負を急ぎすぎ
た。この手がけん制になつぎ
ていれば良いが、黒23はあ
が利くと白30とノリ手
打たれても四追いが残つた。
最後は両ミセが残つた。を27がた。



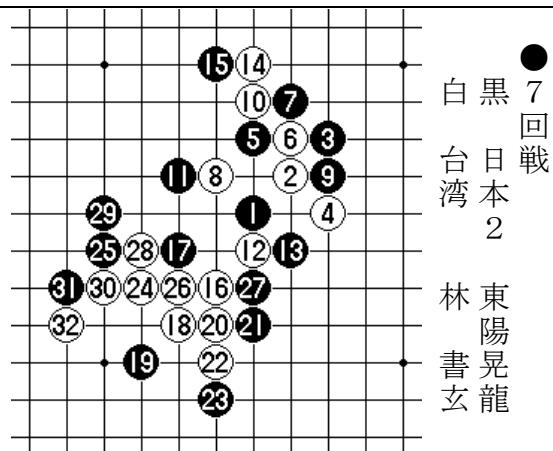
本回戦から遅れて岡部九段が参加。日本チームにと
つては朗報だ。早速マカオ
トツレベルで、黒25、
が利くと白30とノリ手
打たれても四追いが残つた。
最後は両ミセが残つた。を27がた。

こういう所を逃さない
きれいに勝たれてしまつた。
これが、さすがに白の貫録勝ち
た。この手がけん制になつぎ
ていれば良いが、黒23はあ
が利くと白30とノリ手
打たれても四追いが残つた。
最後は両ミセが残つた。を27がた。



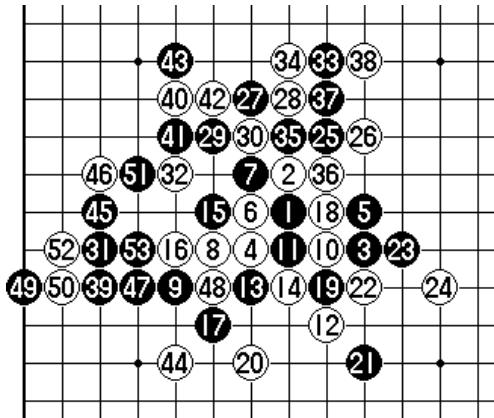
● 7回戦
白 黒 7回戦
日本2 日本2
台湾 林書玄
東陽晃龍
中学生が、世界戦では容赦ない。今回、参
加選手の中でも結構いた。連珠ではやむを得ない。
が今後も進んでいくの低年齢化国
の対局を感じることは、上達するのに必要なことだ。

東陽君は大学生で意欲も
才能もあるのだが、他にも
やることも多いようでなか
なか連珠に集中してもら
えない。今回世界戦に出場し
ていい経験を積んだので、
末永く連珠を楽しんでもら
いたいと願つてゐる。さて、長星黒番とは言
ふに攻めたかつた。黒は
3・7の連が残つた。黒は
石の流れだが、白16か
ら速



● 7回戦

黒 日本1 岡部 寛
白 ロハア Danila Gromov

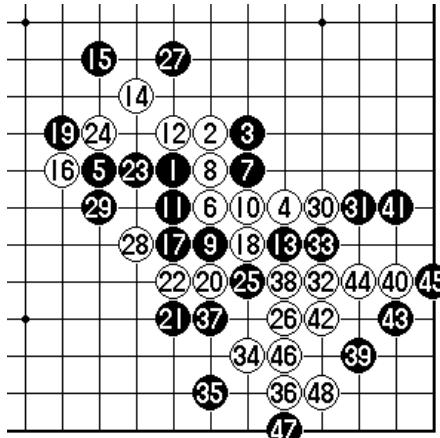


ここからの踏ん張りは岡部九段の勝負強さによるものだつた。まずはロシア戦から。新月から結局は瑞星の定型に戻つた。こうなると経験豊富の岡部君の方方が有利になる。白12に黒13と叩いた姿は早くもゆきぶりをかけ黒39上負黒かはがる

に手をまわしては必勝となつた。

● 8回戦

黒 日本1 神谷俊介
白 中国3 Wan Junhong



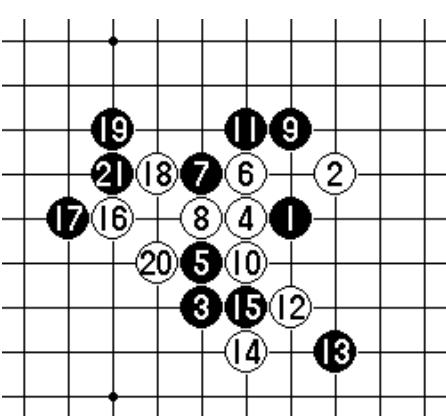
打対止めで良かっただけがない。白40と叩いた姿は反対止めた。黒35は実は反り忘れてしまつていい形になつていて、下辺の猛攻をしのぎ切った。黒12に黒13と叩いた姿は早くもゆきぶりをかけ黒39上負黒かはがる

● 9回戦

本局は「魔さか!」の展開となつた。3位を争う中國3との直接対決、特に四神谷名人は確実に白星をあげおきたい。ところが、40までに黒13と経験豊富の岡部君の方方が有利になる。白12に黒13と叩いた姿は早くもゆきぶりをかけ黒39上負黒かはがる

● 9回戦

黒 日本2 藤田麻衣子
白 韓国 Park Doyoung



● 9回戦

とうとう最終9回戦となつた。藤田さんの最終局を紹介しよう。彗星疎星共通型は、黒7、9という手が現れてからまた打たれ始めた。黒11、13、15、17は認めている。ここで白18は07年のATを優勝したのは岡部九段だけだった。藤田さんは岡部君は相手はWu Di (吳摘)。Wu Diは07年のATを優勝して当たつた。ここでも勝利した。岡部君は当たつているが、その時も岡部君は当たつていて、その後にこのよ

最後に優勝した中国1と当たつた。岡部君は当たつていて、その後にこのよ

白 日本1 吳 摘
黒 中國1 岡部 寛

